

校内研修計画

甲州市立松里中学校

1 学校課題

昨年度の校内研では、「思考力・判断力・表現力」を向上させるために言語活動の充実を図った「授業づくり」と、「Q-Uの活用」を行った。その結果、生徒に自分の考えを表現させることの難しさが授業実践を進める中で課題として分かった。また、学校評価の分析から今年度の重点化する必要がある項目に「主体的に学習する生徒の育成（わかる授業づくりと家庭学習の充実）」と「生徒と教師の望ましい人間関係づくり（気軽に相談できる体制づくり）」が挙げられた。

2 研究主題

「生きる力を育成する教育の創造」 —確かな学力の定着をめざす授業づくりと集団づくりを通して—

3 主題設定の理由

本校では、基礎学力の定着を図るために、国語・数学・英語の基礎的な知識や技能を問う「三大会」の取組を伝統的に毎年実施しており、「家庭学習ノート」の取組も並行して行ってきた。また、各教科では「学び合いのかたち」を授業の中に効果的に取り入れ、基礎基本の定着を図りながら、「思考力・判断力・表現力」を養う授業展開の工夫を行ってきた。その結果、相手の考えや意見を理解しようと努める意識が高まり、学び合いの活動に生徒自身が深まりや広がりを実感することができた。

昨年度では、県下で実施された「学力把握調査」の結果を受け、県教委では「全体的な傾向として、記述式の問題に苦手意識が見られる。」と分析しており、その対策として「考えたことを話したり、書いたりするといった訓練に取り組む必要がある。」としている。また、今年度は、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの最終年度である。それと関連させながら、確かな学力を育むために言語活動の充実を図る「授業づくり」のポイントの明確化やその実践を校内研の1つの柱と位置づける。また、Q-Uの活用を通じてより良い学習環境を整えるための「集団づくり」のあり方の研究を行いたいと考え、以上のように2つの点に的を絞って主題を設定した。なお、研究の仮説は次の通りである。①「思考力・判断力・表現力」を向上させるために言語活動の充実を図った「授業づくり」を通して「確かな学力」が育まれていくだろう。②Q-Uの分析をした後、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを実践することで、よりよい人間関係や集団づくりを構築できるだろう。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 内容

ア 授業づくり

「甲州市授業改善プラン 2012」を活用した言語活動の充実を図る「一人一実践」。「思考力・判断力・表現力」の向上を図るための言語活動を取り入れた授業づくりのポイントを検討する。

イ 集団づくり

年2回（5月、11月）実施されるQ-Uの分析と情報交換。Q-Uの分析後、道徳や特別活動と連携しながら、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの実践をする。

(2) 方法

ア 各教科ブロックでは、実践内容と1年間の指導、生徒の変容についての情報交換と評価を行う。

イ Q-Uの活用についての各学年で情報交換を行い、全体で評価（取り組みの成果と課題）を行う。

年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任 武藤 英紀

月 日 (曜)	回	研 究 内 容	TC・講師
4月10日(水)	第1回	・今年度の研究の方向性 ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携について ・授業規律の確認 ・家庭学習ノートの使用について	
17日(水)	第2回	・今年度の研究主題 (原案・検討)	
24日(水)	第3回	・今年度の研究主題(決定) ・研究組織の確認 ・年間研究計画の確認	
5月22日(水)	第4回	・事前アンケートについて ・通信票, 要録 ・研究授業, 授業実践についての確認【教科ブロック部会】	
6月26日(水)	第5回	・事前アンケート集計結果について ・「甲州市授業改善プラン2012」を活用した言語活動の充実を図る授業づくりのポイントの検討【教科ブロック部会】	
7月 3日(水)	第6回	・家庭学習および「Q-Uの分析」についての情報交換 【各学年ブロック部会】	
7月10日(水)	第7回	・「三大会」「授業規律」についての報告 ・家庭学習および「Q-Uの分析」についての報告【全体会】	
8月 日()	第8回	・「確かな学力」を定着するための授業づくりの意義やポイントについて	◎
9月11日(水)	第9回	・構成的グループエンカウンターかソーシャルスキルトレーニングを活用した「人間関係づくり・集団づくり」について	◎
10月16日(水)	第10回	・授業案検討①	
10月23日(水)	第11回	・授業案検討② ・研究授業役割分担	
10月30日(水)	第12回	・研究授業「 年(未定)」	◎
12月 4日(水)	第13回	・「三大会」「授業規律」についての報告 ・家庭学習およびQ-U活用後の実践についての情報交換 【各学年ブロック部会・全体会】	
12月11日(水)	第14回	・一人一実践の情報交換【教科ブロック部会】	
1月 8日(水)	第15回	・事後アンケートについて	
1月29日(水)	第16回	・事後アンケートの考察について ・研究紀要について	
2月19日(水)	第17回	・各教科ブロックでのまとめ【教科ブロック部会】	
2月26日(水)	第18回	・「Q-Uの活用」についての情報交換(構成的グループエンカウンターやSSTの活用で学級や人間関係の変容に注目)	
3月 5日(水)	第19回	・今年度の成果と課題 ・来年度の方向性	